小津学区の課題・活性化の方向性

川や琵琶湖の環境の悪化

- 河道のヨシ・ヒヨシの氾濫
- 外来魚や外来水草の増加
- 水不足・地下水の確保
- 小津袋や赤野井湾内湖の水質悪化
- 雨水が流れ、ゴミが多い（新守山川）
- 整備され、身近な川でなくなった

ホタルの生育環境の減少

- 常水が少ない
- 放流の失敗
- 土や草の維持
- 自生環境の減少

地域の掃除・維持管理困難

- 公園や道路脇の雑草
- 自治会の掃除では対処しきれない

地域に対する考え方の変化

- 住民のマナーが悪化
- 地域の活動への積極性が希薄化
- 個人主義的な考え方
- 行事の継続・存続ができなくなる

少子高齢化・人口減少

- 晩婚化し、未婚男女が多い
- 子どもの減少
- 学区全体の集いの減少
- 高齢化の進行
- 高齢者のひとり暮らしが増加
- 介護問題
- 役割を担える人材の減少
- 子育ての体制が不安

災害時の対応

- 高齢化により、災害時の避難が不安

子どもの遊び場の減少

- 球技場や広い場所が無い
- 遊び場が無いので、遊ばせないようになっている
- 挨拶ができない
- 若い人の集まる場所が少ない

気軽に集まれる場所の減少

- 井戸端会議の場所が減った
- 魅力的なお店が少ない
- スーパーなどの商業施設が少ない
- 歩いて買い物に行ける場所がない

祭の継続・伝承が困難

- 自治会単位での世話は困難
- どのように長刀祭を伝承していくか

地域についての知識不足

- 歴史や地域環境、遺産等について知識がない

農業の担い手不足

- 農業の後継者がいない

公共交通の便が悪い

- 団地の外へ徒歩で出にくい
- バスの運行が少ない

交通量の増加や道路整備

- 琵琶湖側と守山駅側の地域格差の増大
- 交通量の増加
- 通学路の歩道幅が狭く危険
- 街灯が少なく、暗く怖い場所がある
- 夜間の騒音
- 標識が無い
- 右折溜まりが無い
- 近道のため生活道路に入り込む車

多くの世代が門前町・古墳・環濠・社寺等の歴史・伝統と親しむ環境づくり

〇古墳を活用した公園化
〇門前町・環濠等の地域の歴史の再現
〇多くの住民が楽しめるよう伝統文化を受継ぐ（現代に合わせアレンジ）

新守山川や小津袋に親しむ憩いと健康の環境づくり

〇琵琶湖岸のバスや水草を除去し、親水性のある湖岸に
〇多様な生物が生息できる環境づくり
〇川や公園を活かした憩いの場所づくり
〇健康づくりの場の整備（自転車道やグラウンドゴルフ場）

生成りから始める推進体制づくり

〇生成り（本来の姿のまま）でできるものから始めて行く
〇共有できるシナリオと取組みの推進力をつくる（指導者の育成）

地域皆が架け橋となり定住を促進する取組み

〇人間関係を仲立ちする人を育成（婚活推進等）
〇新旧住民の交流
〇農地を宅地化し、新規住民が入って来られるように

ホタルや長刀祭、身近な魅力からつながる地域づくり

〇気軽に楽しく参加できる環境として色々な行事を企画し、幅広い参加を推進する
〇身近な連携が取れる人から取組みを進めていく
〇自治会単位に留まらず、学区単位での連携を検討する
〇ホタルや祭をきっかけに
〇気軽に遊べる・集まれる場所づくり

農業に触れるきっかけや制度づくり

〇貸し家庭菜園
〇子どもの畑体験

安全・安心な生活環境づくり

〇車がなくてもお出かけしやすい交通
〇道路利用のマナーとルール
〇夜間の安全を守るための仕組み

（注）第３回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。